

2026(令和8)年

ゆめじゅく

〒792-0821 新居浜市瀬戸町 7-30
TEL : 0897-41-5859 (Fax 兼用)
E-mail : seto@city.niihama.lg.jp

8月

新居浜市瀬戸町

8月の予定

★ゆめじゅく編集委員会
3日(月) 13時30分～
★移動図書館青い鳥号
4日(火)・25日(火)
14時00分～14時40分
★人権のつどい日
11日(火) 10時00分～11時30分

★ゆめ喫茶 7日(金)
10時00分～12時00分
★回転木馬はお休みです。

月日曜日
平日

月日曜日
平日



2026年度東予ブロック地域啓発講演会

7月4日(土) 13:00から瀬戸会館にて2026年度東予ブロック地域啓発講演会(主催:愛媛県人権対策協議会)が開催され、人権教育課人権啓発指導員 鴻上基志さんによる「だまっとったら差別がなくなるって、ホンマにそう?」の演題で講演がありました。

講演では普段、ユーモアを交えながら、熱く語ってくださる鴻上さんですが、今回の講演では「人権啓発者」としてのご自身のルーツを知ることができたように思います。「誰のために差別をなくすのか」との問い掛けの後に話してくださった、身近な人の差別的発言に覚えた怒りとその後の心の葛藤。

教員となり、人権・同和教育を推進する中で言われた「反発じゃない、逃げているだけだ。」の言葉に気付かされた自身の不甲斐なさ。そしてこれまでの自分との決別。

『寝た子を起こすな』論で差別問題は解決するのか」との問い掛けの後に話してくださった、結婚差別の壁を乗り越えた若い2人の生き様、学び続ける生徒の『寝た子を起こすな』論に関する大人へのメッセージ。

「差別はすべての人を不幸にする」人権課題解消に向けた心からの想いを語っていただきました。

新居浜市 古川拓哉市長

新居浜市人権教育課
人権啓発指導員
鴻上基志さん

人権のつどい日

7月の「人権のつどい日」は、一般社団法人 Love&Safety さいじょう 久保 一平 さんの「子どもの命を守るために水難事故や学校事故を考える」と題したお話でした。

2012 年加茂川上流にある石鎚ふれあいの里での水難事故を職員として目の当たりにした久保さんは、その事故以来、子どもたちの命を守るための取組を、西条市を中心に県内で続けられています。

「一番大切なこと 自分の命は自分で守ること。」

子どもたちにこのことを理解せるのは大人の責務です。子どもたちの命を守ることは、川や山、森などから子どもたちを遠ざけることではなく、自然の教えを理解し、子どもたちに正しく伝えることです。特に、海岸線が長く、河川が多い愛媛県は、海や川などの「水」とは切っても切れないところです。だからこそ、「水」の姿を理解させ、安全に「水」と触れ合うようにすることが大切です。

川は、カーブ外側は水流が速い、合流地点は危険が多い、コンクリート堰堤(えんてい)は水が渦巻き抜け出せないなど…注意すべきことがたくさんあります。かつては、大人が、「あそこには河童が棲んでいて足を引っ張られるぞ。」と例えを用いて危険地点の警告をしていたそうですが、現在では危険地点を知らない大人が多くなっています。

「もし、おぼれている人をみつけたら
☆水に入って助けにいかない 大人でも助けることはむずかしい
☆ひとをよぶ ひとりで助けない
☆浮くものをなげる ペットボトルは少し水を入れると投げやすい」

頭ではわかりますが、いざというときにこのことが実践できるでしょうか。複数人が遭難した事故の多くは、助けに行ったがために起こった事故だそうです。死亡事故に至った場合、遺族も、生存者も一生事故の重荷を背負うことになります。だから、そのような状況にならないための取組や工夫をしなければなりません。

「データが方針を決める。」

2005 年から 2021 年の 17 年間に学校事故で死亡した子どもは 1614 人、障がいが残った子どもは 7115 人。(日本スポーツ振興センター災害共済給付制度より) 事故は毎年繰り返し起きており、17 年前に起きた事故と同じ事故が今も起きているということです。事故が検証されない(データを見ていない)ことがその原因です。最近の異常気象から暑さに慣れていない 5 月に熱中症が多くなっているというデータがありながら、学校現場では、いまだに持久走やシャトルランを 5 月に実施している…。これでは事故が繰り返されるのも当然だと言えます。

「子どもの命を守る」それは大人の責任です。そのためには、大人が既成概念や固定観念を打ち破ってまっすぐに子どもの命を見つめなければなりません。今回は水難事故や学校事故を中心にしたお話でしたが、大人が子どもを含むすべての人の命をまっすぐにみつめるという姿勢は人権問題の解消につながるのだと思いました。

新居浜市 古川拓哉市長

『八十にして……』



『子曰く、吾れ

十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。

五十にして天命を知る。六十にして耳順がう。

七十にして心の欲する所に従って、矩を踰えず。』（為政編）



これは、孔子や孔子の門弟の言行を記した『論語』（為政編）の中に記されているものです。口語訳をすると、「わたしは十五歳で学問に志し（志学（しがく））、三十になって独立した立場を持ち（而立（じりつ））、四十になってあれこれと迷わず（不惑（ふわく））、五十になって人間の力を超えた運命（天命（てんめい））をわきまえ、六十になって人の言葉が素直に聞かれ（耳順（じじゅん））、七十になると思うままにふるまって、それで道はずれないようになった。（従心（じゅうしん））」になります。

60歳を過ぎて改めて読み直してみると、「60歳になって、他人の言葉を受け入れられるようになる。おいおい、それじゃ遅いだろうと思いますが、数多くの経験を積み、比較的余裕が出てきてこそ、他人を受け入れる余裕も出てきたのかなあ」と自分自身納得しています。人から言われることを素直に聞くのは、確かに難しいですね。また、この言葉が意味しているのは、単に聞くという行為だけでなく、「自分は間違っていない」という頑なな態度を人は取りがちであるということかな、とも思います。「自分は間違っているかも」との考えが欠落していると、素直に他人の言葉を聞くことが出来ません。私は、自分を内省することの大切さを人権・同和教育から学びました。

そして70歳、老境にさしかかって初めて人の道とはなにかが分かってくるのでしょう。まあ、この歳になって強い自我を押し通そうとするものならなら、「いい歳して、何してるんだ!」と叱られるのもこの世代です。矩（のり）とは、計量器具のことで、四角形を作る定規です。心の欲するままにしても定規を超えない、つまり、道と自己が一体となった状態と言えます。自己の行動にも、真の自由を得たことであり、欲望のままに動いても、人の道を外れないという境地に達した、ということなのでしょう。

2500年経って社会や文明が大きく変わっても、人間の生き方、人と人との関係性、社会での位置づけなど、大して変わっていないのが分かります。論語が時代を超えて読み継がれるのも、この普遍的な中身であるが故です。これからの生き方は論語が示してくれているといえるのですが、孔子が73歳で亡くなっていることから、八十にして……というのがあります。「人生100年時代」とまでは言いませんが、80代位の人はいくらいます。そこで、孔子に続けて、おこがましくも私が付け加えるなら、「八十にして、童心（どうしん）に戻る（返童（へんどう））」、「九十にして、無に到る（到無（とうむ））」とかはいかがでしょうか？ 童心とは、童（わらべ）の心、子どもらしい、純粹無垢で素直な気持ちを意味します。1歳から5歳くらいまでの幼児、この時期の人間が私はもっとも活力にあふれていて、純粹で、美しいと思うのです。差別心や偏見などという感情はもち合わせず、純粹（じゅんすい）無垢（むこ）で素直な気持ちをもっています。80歳になれば、差別心や偏見とは無縁の童心に返りたいものです。童心に戻るのに最も手っ取り早いのは、やはり子どもと一緒に遊ぶのが一番です。かくれんぼ・おままごとなどなど……身体を目いっぱい使って遊べば相当疲れるかもしれませんが、普段は味わえない達成感が染みわたるはずで。童心を取り戻す、そんな機会にふれるのは人間性の回復になりますね。

そして最後に、「九十にして、無に到る（到無）」、死を前に究極の「無」に到る、これは、私の個人的な願望も入っています。



瀬戸会館使用状況

※7月21日現在の予定を記載しております。



月	火	水	木	金	土	日
					1 マクラメ	2
3 楠木クラブ 己書道場 べっぴんさん ピンポン E Dance school fun	4 えんとつ山 詩吟 フラダンス レインボー-B 書神会 E Dance school	5 水美会 楠木クラブ 空手	6 3 B体操 どんぐり レインボー-A 紙バンド よさこい	7 ゆめ喫茶 健康体操 ピンポン 彩の会 フラダンス	8 スクエアダンス てんこく	9
10 楠木クラブ すみれ ピンポン べっぴんさん 書神会 E Dance school fun	11 人権のつどい日  山の日	12 水美会 オカリナクラブ 空手	13 オカリナ小組 レインボー-A	14 健康体操 ピンポン フラダンス	15	16
17 楠木クラブ ピンポン べっぴんさん 書神会 E Dance school fun	18 つまみ細工 詩吟 フラダンス レインボー-B E Dance school	19 水美会 楠木クラブ 空手	20 3 B体操 どんぐり 己書道場 レインボー-A 紙バンド よさこい	21 健康体操 ピンポン フラダンス	22 マクラメ スクエアダンス	23
24 楠木クラブ すみれ ピンポン べっぴんさん 書神会 E Dance school fun	25 つまみ細工 詩吟 若葉会 フラダンス レインボー-B E Dance school	26 水美会 楠木クラブ オカリナクラブ 空手	27 3 B体操 どんぐり レインボー-A 紙バンド よさこい	28 健康体操 ピンポン 彩の会 フラダンス	29	30
31 楠木クラブ べっぴんさん E Dance school fun						瀬戸会館 HP 



瀬戸会館では、人権、健康、福祉、生活等の各種相談を行っています。
お気軽にご相談ください。